

一 般 質 問

9月議会では、4名の議員が一般質問を行いました。

認知症ケア向上と 今後の対策は

櫻谷 千重子 議員

牟岐町の認知症高齢者の現状は、平成26年4月1日現在で、65歳以上の高齢者2015人について、認知症の全国有病率15%で求めると、約300人と推定されます。

平成25年7月31日現在の調べでは、介護保険認定者数359人のうち認知症と診断されているのは、123人で、まだかなりの方がいるということで、この数は年々増えてくると思われます。また、認知症高齢者を狙った詐欺も全国で多発している現状も踏まえ、今後の認知症ケアに向けて健康管理専門士や指導管理士、ソーシャルワーカー等の職員の習得や専門職員の導入を考えてはどうか、今後の課題も含めお聞きします。

福井町長

平成24年9月に国が定め

た認知症施策推進5か年計画に従い、認知症となつても本人の意思が尊重され、

できる限り良い環境で暮らし続けることができる社会的実現を目的として、平成25年度から牟岐町認知症ケア向上推進事業を実施しています。①認知症地域支援委員を配置。②地域密着型サービス事業での在宅生活継続のための相談・支援の推進。③認知症の人と家庭の会への参加。④月一回の心配事相談への参加。⑤認知症に関する講演会の開催。現在、介護認定者のうち30%余り、約1200の方が認知症ではないかと診断されていますが、全国有病率15%で求めると3000人余りとなり、牟岐町の65歳以上の一人暮らしの方が350人余り居ることから、隠れ認知症患者が居ることが推測されます。

社会全体で認知症の人々を支え、介護サービスだけでなく、地域の互助も最大限活用できるように今後とも努力したいと考えています。

百々健康生活課長

職員資格の習得については、地域、職域における認知症サポーター養成のためのキャラバンメイト養成研修に参加しています。専門職の導入については、認知症地域支援推進員の普及を図っていききたい。早期発見、早期治療のためには、医療関係者の高い尺度が必要だ

と考えています。

情報交換の場として、月一回、町内事業者の介護支援専門員を集めてのサービステキニの評価のための地域ケア連絡会を開催し、認知症の方に対する情報共有を行っています。予防対策としては、月一回の脳トレ教室の開催など脳機能の活性化事業があります。

町全体で認知症の人々を支えるための介護サービスだけでなく地域の自助、互助を最大限に活用するネットワークをつくることが課題だと思っています。



認知症予防のための脳トレ体操(毎月実施)